

第 18 回建物・構築物検討会 議事録

1. 日時 平成 21 年 8 月 3 日 (月) 16 時 00 分 ~ 18 時 10 分
2. 場所 日本電気協会 4 階 A 会議室
3. 出席者 (順不同 , 敬称略)

委員 : 久保主査 (東京大学) , 北山副主査 (首都大学東京) , 貫井幹事 (東京電力) , 高橋 (北海道電力・斎藤委員代理) , 尾形 (東北電力) , 赤瀬 (東京電力) , 平木 (中部電力・星野委員代理) , 藤井 (北陸電力) , 伏見 (関西電力) , 高下 (中国電力) , 細川 (四国電力) , 船本 (九州電力) , 武井 (電源開発) , 奥谷 (日本原子力発電・川里委員代理) , 清水 (大林組) , 福島 (鹿島建設) , 藤田 (清水建設・小川委員代理) , 森山 (大成建設) , 大宮 (竹中工務店) , 中島 (東芝) , 遠山 (日立 GE ニュークリア・エナジー・平子委員代理) , 吉賀 (三菱重工業) (計 22 名)

欠席 : なし

常時参加 : 土井 (新潟大学) (計 1 名)

傍聴 : 杉山 (東京電力) , 藪内 (鹿島建設) , 井原・間瀬 (東電設計) , 渡辺 (大成建設) , 田中 (大林組) , 鬼丸 (竹中工務店) (計 7 名)

事務局 : 糸田川 (日本電気協会) (計 1 名)
4. 配布資料

資料 18-1 第 17 回建物・構築物検討会議事録 (案)

資料 18-2-1 「乾式キャスクを用いる使用済燃料中間貯蔵建屋の基礎構造の設計に関する技術規程 (JEAC4616) (制定案) 」に対する第 33 回原子力規格委員会における書面投票での意見に対する回答

資料 18-2-2 JEAC4616 「乾式キャスクを用いる使用済燃料中間貯蔵建屋の基礎構造の設計に関する技術規程 (制定案) 」に関する書面投票における委員全員の意見を含む投票内容

参考-1 建物・構築物検討会委員名簿

参考-2 第 33 回原子力規格委員会議事録 (案)

参考-3 第 35 回耐震設計分科会議事録 (案)
5. 議事
 - (1) 会議定足数の確認

事務局より , 代理出席者 5 名が紹介され , 規約に基づき久保主査の承認が得られた。また , 代理出席を含めて全委員出席であることを確認した。
 - (2) 前回議事録の確認 (資料 18-1 , 参考-2 , 3)

事務局より , 検討会の前回議事録 (案) (資料 18-1) の説明があり , 正式議事録とすることを確認した。また , 前回検討会以降に開催された耐震設計分科会及び原子力規格委員会における審

議状況について、各議事録(案)(参考-2,3)に基づき概要説明が行われた。

(3) 主査の選任、及び副主査・幹事の指名

事務局より、主査の選任手順及び副主査・幹事の指名手順の説明が行われた後、貫井委員より久保委員が主査候補として推薦され、候補者本人を除く全員の賛成(挙手)により、久保委員が主査に選任された。また、久保主査より、北山委員を副主査に、貫井委員を幹事にそれぞれ指名された。

(4) JEAC4616-20XX「乾式キャスクを用いる使用済燃料中間貯蔵建屋の基礎構造の設計に関する技術規程」制定案に対する原子力規格委員会書面投票における意見等への対応について(資料18-2-1,2)

東京電力杉山氏より、原子力規格委員会における一次書面投票での意見に対する回答案(資料18-2-1)、及び耐震設計分科会における二次書面投票での意見に対する回答案(資料18-2-2)について説明が行われ、審議した。

その結果、一部修正し、本回答案(規格制定案に編集上の修正を加えるという案)を8月7日の耐震代表幹事会、8月21日の第36回耐震設計分科会及び9月15日の第34回原子力規格委員会で報告し、委員会委員長・副委員長・幹事の了解を得た上で、公衆審査に移行することを確認した。(本制定案は、原子力規格委員会における一次書面投票で反対意見付反対なく、2/3以上の賛成により可決されているので、編集上の修正であれば、委員会委員長・副委員長・幹事に判断いただいた上で、公衆審査に移行できることとなっている。)

なお、追加意見があれば、8月4日までに貫井幹事に連絡することとした。

(主な修正箇所)

- ・資料18-2-1の3頁7-1の回答は、「本文に用語を使用していないため」のように、理由を明確に書いた方がよい。
- ・同上の6頁解説の“「地震力に・・・設計指針」(日本建築センター)に基づき、・・・”の表現が適切か再検討する。
- ・同上の9頁解説の「国土交通省告示第1113号」は年号が必要ではないか。
- ・資料18-2-2の10/11頁の回答は、「原子力安全委員会・・・審議結果に基づいた表現です。」のように丁寧に書いた方がよい。

(5)その他

貫井幹事より、今秋頃にJEAC4601-2008が発刊されるが、当面、直ちに改定作業が必要な課題はないと考えている旨の説明があった。各社意見があれば幹事まで連絡することとした。

以上